

琵琶湖の紹介

琵琶湖は、今からおよそ400万年前にできた世界でも数少ない古い歴史を持つ湖です。

その水は、滋賀県だけでなく京阪神に生活する1,450万人の飲み水や工場や農業で使う水として大きな役割を果たしています。

また、琵琶湖にはたくさんの生きものがいます。およそ5万羽の水鳥が訪れ、水の中には約50種類の魚、約50種類の貝がすんでいます。ニゴロブナ、ホンモロコなどの琵琶湖で見られない生きものもいます。



ニゴロブナ



ホンモロコ



面積 約670km²

(県全体の約6分の1)

水の量 約275億m³

湖の水がすっかり入れかわるのに、19年以上もかかるといわれています。

平均の深さ 約41m

一番幅のせまいところ 1.35km

(琵琶湖大橋付近)

ここから北を北湖、南を南湖とよんでいます。

北湖の面積は南湖の約11倍あります。

周囲の長さ 約235km

(大津市から静岡県浜松市までの長さとはほぼ同じ)

一番幅の広いところ 22.8km

高島市新旭町
あいはら
饗庭

長浜市下坂浜町

一番深いところ 約104m

(安曇川の沖)